

ワークショップ プログラム

W1A ポストゲノムに基づく古細菌分子生物学の発展

2000年12月13日(水) 9:30 ~ 12:00 A会場
世話人/座長: 山岸明彦(東京薬大), 石野良純(生物分子工研)

- W1A-1 古細菌研究と生命の初期進化史: 40 から 20 億年前
山岸明彦(東薬大・生命科学)
- W1A-2 超好熱・好熱古細菌のシャペロニン - その構造と機能 -
丸山正(海洋バイオ研・釜石研)
- W1A-3 古細菌脂質生合成系の酵素と遺伝子
古賀洋介(産業医大・生体物質化学)
- W1A-4 古細菌ゲノム情報の解析と応用
河原林裕(通産省評価センター、バイオセンター)
- W1A-5 古細菌ゲノムの体系的・網羅的機能解析のための逆遺伝学の手法の確立
野村紀通, 森永弥生, 左子芳彦, 内田有恆(京大・院農)
- W1A-6 古細菌のDNA複製、組換えに関与するタンパク質の構造と機能
石野良純(生物分子工研)

W1B ポストゲノム時代の構造生物学

2000年12月13日(水) 9:30 ~ 12:00 B会場
世話人/座長: 神田大輔(生物分子工研), 藤博幸(生物分子工研)

- W1B-1 構造ジェノミクスの進展
松尾洋(理化学研究所ゲノム科学総合研究センター)
- W1B-2 構造ゲノム科学を支援するためのドメイン構造推定システム
黒田裕, 横山茂之(理研・GSC・タンパクG)
- W1B-3 電子線結晶学による膜蛋白質の立体構造解析
光岡薫(京大・理・生物物理)
- W1B-4 タンパク質間相互作用へのゲノムのアプローチ: カタログ化から相互作用ドメインの組織的同定へ
伊藤隆司(金沢大・がん研)
- W1B-5 プロテオミクスの手法によるタンパク質間相互作用解析
夏目徹(科技厅・次世代プロテオームプロジェクト)

W1D 植物の生き方を決めるシグナル分子

2000年12月13日(水) 9:30 ~ 12:00 D会場
世話人/座長: 島本功(奈良先端大・バイオ), 柿本辰男(阪大・院理)

- W1D-1 自家不和合性の自他識別タンパク質
磯貝彰, 高山誠司(奈良先端大・バイオ)
- W1D-2 イネにおけるジベレリンのシグナル伝達機構
伊藤博紀, 上口(田中)美弥子, 芦苅基行, 松岡信(名大・生物分子応答センター)

- W1D-3 サイトカイン情報伝達系の研究
井上 努¹, 樋口 雅之², 橋本 由香里¹, 関 原明³, 小林 正智³, 加藤 友彦⁴, 篠崎 一雄³, 田畑 哲之⁴, 柿本 辰男¹ (¹ 阪大・院理・生物, ² 阪大・理・生物, ³ 理化学研究所ライフサイエンス筑波研究センター, ⁴ かずさDNA 研究所)
- W1D-4 A plant gene required for transcriptional gene silencing but not for DNA methylation
Yoshiki Habu, Jerzy Paszkowski (Friedrich Miescher Inst.)
- W1D-5 フィトクロム分子種に特異的な光捕獲・核移行・下流反応
古谷 雅樹 (日立・基礎研)
- W1D-6 NPK1 MAPKKK が関与している MAP キナーゼカスケードと植物細胞の増殖
町田 泰則¹, 西浜 竜一¹, 征矢野 敬¹, 石川 雅樹¹, 荒木 智史¹, 浅田 哲弘² (¹ 名大・院・理・生命, ² 阪大・院・理・生命)
- W1D-7 耐病性と細胞死のシグナリング機構
島本 功, Hann Ling Wong, Utut Suharsono, 中島 綾子, 長谷川 香奈, 高岸 崇, 高橋 章, 川崎 努 (奈良先端大・バイオサイエンス)

W1E 骨格系細胞制御の分子シグナリングと組織再生

2000年12月13日(水) 9:30 ~ 12:00 E会場
世話人/座長: 野田 政樹 (東京医歯大), 宮園 浩平 (癌研)

- W1E-1 骨形成因子シグナルの多様性と協調
加藤 光保¹, 青木 啓真¹, 藤井 万紀子¹, 海老沢 高憲¹, 今村 健志¹, 川畑 正博¹, 宮園 浩平^{1,2} (¹ 癌研・生化, ² 東大・院医・分子病理)
- W1E-2 新規細胞接着分子 POEM の単離と機能解析
守村 直子¹, 手塚 洋子¹, 宮谷 精二², 渡辺 尚子¹, 穂積 信道¹, 手塚 建一¹ (¹ 東理大・生命研, ² キリン医薬品探索研)
- W1E-3 Smad 結合蛋白質 Tob による BMP シグナルの抑制
吉田 富¹, 臼井 通彦², 今村 健志³, 梅森 久視¹, 宮園 浩平³, 野田 政樹², 野田 哲生⁴, 山本 雅¹ (¹ 東大・医科研・癌細胞シグナル, ² 東京医歯大・難治研・分子薬理, ³ 癌研・生化, ⁴ 癌研・細胞生物)
- W1E-4 OPN の機能解析
野田 政樹, 麻生 義則, 伊原 英世, 根本 啓行, 石島 旨章, 辻 邦和, 二藤 彰 (東京医歯大・難治研)
- W1E-5 骨形成に不可欠な膜型マトリックスメタロプロテアーゼ 1(MT1-MMP)
岡田 明子¹, 小森 潔¹, 谷脇 香¹, 佐藤 博², 谷口 俊一郎³, 中村 健司⁴, 中尾 和貴⁴, 勝木 元也⁴, 岡田 保典⁵, 清木 元治¹ (¹ 東大・医科研・腫瘍細胞社会学, ² 金沢大・がん研・腫瘍分子科学, ³ 信州大・医・加齢適応研セ, ⁴ 東大・ヒト疾患モデル研セ・高次機能, ⁵ 慶應大・医・病理)
- W1E-6 骨髄ストローマ細胞上に発現する破骨細胞分化を制御する新規表面分子
新井 智, 竹下 淳, 工藤 明 (東工大・生命理工)
- W1E-7 力学的負荷による骨形成促進機構における fosfamily 遺伝子の役割
木戸 慎介, 井上 大輔, 松本 俊夫 (徳島大・医・第一内科)
- W1E-8 間葉系幹細胞システムの活性化と軟骨再生
開 祐司¹, 水田 博志², 宿南 知佐¹ (¹ 京大・再生研, ² 熊本大・医・整形)
- W1E-9 C2C12 筋芽細胞の BMP-2 による骨芽細胞への分化に MFH-1 蛋白は必要である
三浦 直行 (浜松医大・医・生化 2)
- W1E-10 VDR/RXR 二重遺伝子欠損マウスでの軟骨変異
吉澤 達也^{1,2}, 山本 陽子¹, 八木下 尚子¹, 関根 圭輔¹, 佐藤 隆史¹, P. Chambon³, 加藤 茂明^{1,4} (¹ 東大・分生研, ² 新潟大・歯, ³ IGBMC・France, ⁴ CREST・科技団)

W1E-11 未分化軟骨細胞増殖因子としての FGF-18 の役割

大林 典彦^{1,2}, 与那嶺 享子¹, 今西 麻由美¹, 柴山 正樹^{1,2}, 高田 慎治², 伊藤 信行¹ (¹京大・院薬, ²京大・院理)

W1F 脂溶性シグナル分子による遺伝子情報調節機構

2000年12月13日(水) 9:30 ~ 12:00 F会場

世話人/座長: 田辺 忠 (国循セ研), 加藤 茂明 (東大・分生研)

W1F-1 核内レセプター転写共役因子の機能

加藤 茂明^{1,2}, 渡辺 理子¹, 遠藤 英樹³, 舩広 善和^{1,2}, 小林 陽子¹, 柳沢 純^{1,2} (¹東大・分生研, ²CREST・科技団, ³山之内製薬・分医研)

W1F-2 マウス胚発生における内在性レチノイン酸濃度の制御

坂井 靖夫, 濱田 博司 (阪大・細生工セ)

W1F-3 SREBP ファミリーによる脂質合成転写調節

島野 仁 (筑波大学臨床医学系内科代謝内分泌)

W1F-4 核内レセプター FXR の標的遺伝子 I-BABP の転写制御機構

藤井 博¹, 神田 達夫¹, Steven A. Kliewer², Timothy M. Willson², Philippe Besnard³ (¹新潟大・医・二生化, ²Glaxo Wellcome Res. Dev., USA, ³ENSBANA, France)

W1F-5 FXR/BAR 遺伝子欠損マウスにおける胆汁酸および脂質代謝

頭金 正博^{1,2}, Christopher Sinal², 宮田 昌明^{2,3}, Jerrold Ward², Gilles Lambert², Frank Gonzalez² (¹国立公衛院・薬学, ²NIH, USA, ³東北大・薬・薬物動態)

W1F-6 Involvement of the TLX/PNR class of orphan receptors in eye development and disease

Ruth Yu¹, Shin-ichiro Takezawa^{1,2}, Josseline Kaplan³, Kazuhiko Umesono¹ (¹Kyoto Univ., ²Tokyo Univ., ³Hopital Des Enfants-Malades, Paris)

W1F-7 PPAR- を介したプロスタサイクリン・シグナル伝達

波多江 利久, 田辺 忠 (国立循環器病セ・薬理)

W1G 自然免疫と適応免疫のクロストーク

2000年12月13日(水) 9:30 ~ 12:00 G会場

世話人/座長: 審良 静男 (阪大・微研), 菊谷 仁 (阪大・微研)

W1G-1 Toll-like receptor ファミリーと自然免疫

審良 静男 (阪大・微研・癌抑制遺伝子)

W1G-2 B細胞のLPS認識における Toll-like receptor(TLR)と会合する MD タンパクの役割

三宅 健介 (佐賀医大・医・免疫)

W1G-3 CD40-CD154 及び CD72-CD100 相互作用を介した免疫反応の正と負の調節

菊谷 仁 (阪大・微研・分子免疫)

W1G-4 樹状細胞と抗原提示 / T細胞活性化機能

稲葉 カヨ (京大・院生命科)

W1G-5 免疫系における V 14NKT 細胞の役割

谷口 克, 原田 通成, 鎌田 憲明, 佐藤 宏, 清水 英子, 小林 誠一郎, 中山 俊憲 (千葉大・院・免疫発生, CREST)

W1H 微生物細胞分裂における染色体 integrity 保持機構

2000年12月13日(水) 9:30 ~ 12:00 H会場
世話人/座長: 片山 勉(九大・院薬), 仁木 宏典(熊本大・発生医学研セ)

- W1H-1 分裂酵母 *cdc18-cdt1* による染色体複製ライセンス化の制御
西谷 秀男¹, Zoi Lygerou², 西本 毅治¹, Paul Nurse² (¹九州大・医学系・細胞工学, ²ICRF, UK)
- W1H-2 大腸菌の染色体複製開始の調節に必須な *hda* 遺伝子の解析
加藤 潤一¹, 片山 勉² (¹東大・医科研, ²九大・院薬)
- W1H-3 1 回性複製における DnaA の制御的不活性化の役割と分子機構
片山 勉¹, 高田 誠¹, 末次 正幸¹, 藤光 和之¹, 川上 広宣¹, 加藤 潤一² (¹九大・院薬・分子生物, ²東大・医科研)
- W1H-4 Roles of PriA protein in responses to replication fork arrest through coupling of replication-recombination-repair
田中 卓¹, 谷山 智香^{1,2}, 新井 賢一^{1,2}, 正井 久雄¹ (¹東大・医科研・染色体制御, ²科技団・CREST)
- W1H-5 分裂酵母における cohesin の機能解析; 姉妹染色体分離に伴う微量の Rad21 の分解の必須性の検討
朝長 毅¹, 長尾 恒治², 村上 晶子², 柳田 充弘^{1,2} (¹京大・院・生命科学, ²京大・院・生物物理)
- W1H-6 分裂酵母の姉妹染色分体接着の確立と維持に関わる新規因子の機能解析
田中 晃一, Zhonglin Hao, 岡山 博人 (東大・院医・分子生物)
- W1H-7 *parAB* 分配遺伝子による DNA 分配の仕組み
仁木 宏典^{1,2}, 山市 嘉治² (¹さががけ 21・科技団, ²熊本大・発生センター)
- W1H-8 分裂酵母のテロメアにおける *rif1* 遺伝子の機能解析
加納 純子, 石川 冬木 (東工大・生命理工)
- W1H-9 自然突然変異に対する転写の影響: 高い転写レベルの DNA 領域で特異的に誘発される配列置換型変異
愿山 郁, 真木 寿治 (奈良先端大・バイオサイエンス研究科)
- W1H-10 出芽酵母 Wac1p は細胞壁合成チェックポイント制御に関わる
大矢 禎一^{1,2}, 鈴木 雅哉¹, 河野 恵子¹, 峯村 昌代¹, 宇津木 孝彦¹ (¹東大・院新領域・先端生命, ²さががけ 21)

W1I 21世紀の組換え研究の展開

2000年12月13日(水) 9:30 ~ 12:00 I会場
世話人/座長: 小川 智子(国立遺伝研), 篠原 美紀(阪大・院理)

- W1I-1 Class switch recombination and somatic hypermutation require AID, a potential RNA editing enzyme
M. Muramatsu¹, K. Kinoshita¹, S. Fagarasan¹, S. Yamada², Y. Shinkai², T. Honjo¹ (¹Kyoto Univ., Fac. Med., Dept. Med. Chem., ²Inst. Virus Res., Dept. Cell Biol)
- W1I-2 V(D)J 組み換えと SEDNA の 3'リン酸化
名川 文清, 石黒 啓一郎, 児玉 昌美, 坂野 仁 (東大・院理・生化)
- W1I-3 Mechanism of Action of the Single Active Site for the Multiple Steps of DNA Transposition Reactions.
K. Mizuuchi¹, K. Yanagihara¹, M. Mizuuchi¹, E. Greene¹, A.K. Kennedy², D.B. Haniford² (¹NIH, USA, ²U. Western Ontario, Canada)
- W1I-4 減数分裂組み換えと姉妹動原体制御の両方に必要なコヒーシンの機能の分離
渡辺 嘉典, 山本 正幸 (東大・院理・生化)
- W1I-5 減数分裂期相同染色体間交叉型組換え形成におけるチェックポイント遺伝子の機能
篠原 美紀^{1,2}, Douglas. K. Bishop², 篠原 彰^{1,2} (¹阪大・院理・生物科学, ²シカゴ大学)

- W1I-6 出芽酵母における DNA 二重鎖切断時のチェックポイントコントロール
近藤 多恵¹, 松本 邦弘^{1,2}, 杉本 勝則¹ (¹ 名大・院理・生命理学, ²CREST・科技団)
- W1I-7 動物細胞株を使った reverse genetics による DNA 組み換え機構の解析
武田 俊一¹, 園田 英一朗¹, 山添 光芳¹, 藤森 亮¹, 山下 由起子¹, 高田 穰² (¹ 京大・医・放射線遺伝学, ² 川崎医大・免疫学)

W1J エピジェネティックスの分子基盤

2000年12月13日(水) 9:30 ~ 12:00 J会場
世話人/座長: 佐々木 裕之 (国立遺伝研), 田嶋 正二 (阪大・蛋白研)

- W1J-1 脊椎動物 DNA メチルトランスフェラーゼの機能
田嶋 正二 (阪大・蛋白研)
- W1J-2 Regulation of DNA Methylation in mammals
Heinrich Leonhardt (Max Delbrück Center, Molecular Medicine, Berlin, Germany)
- W1J-3 メチル化 CpG 結合タンパク質 MBD1 による転写制御の分子機構
藤田 直之¹, 山本 すぎ子¹, 松井 真一¹, 下竹 敦哉², 大木 出², 白川 昌宏², 佐谷 秀行¹, 中尾 光善¹ (¹ 熊本大・医・腫瘍医学, ² 奈良先端大・生体高分子構造学)
- W1J-4 MBD1 のメチル CpG 結合ドメインの立体構造と DNA との相互作用
白川 昌宏¹, 大木 出¹, 下竹 敦也¹, 藤田 直之², Jun-Goo Jee¹, 中尾 光善² (¹ 奈良先端大・バイオ, ² 熊本大・医)
- W1J-5 DNA メチル化とクロマチンによるゲノムインプリンティング制御機構
佐々木 裕之^{1,2}, 石原 宏^{1,2} (¹ 国立遺伝研・人類遺伝, ² 総研大・生命科学)
- W1J-6 ゲノム初期化に関わる因子同定の試み
多田 政子^{1,2}, 秦野 慎矢¹, 中辻 憲夫¹, 多田 高¹ (¹ 京大・再生研・発生分化, ² 科技団・さきがけ 21)
- W1J-7 単クローナル、多クローナルな疾患でのメチル化異常
牛島 俊和 (国立がんセ・研・発がん)

W1K 減数分裂の分子制御：モデル生物を用いた研究の最前線

2000年12月13日(水) 9:30 ~ 12:00 K会場
世話人/座長: 野島 博 (阪大・微研), 下田 親 (大阪市大・院理)

- W1K-1 分裂酵母の減数分裂を司る RNA 結合タンパク質 Mei2 の制御系
山下 朗¹, 佐藤 政充², 島田 忠之², 渡辺 嘉典², 山本 正幸^{1,2} (¹ 東大・遺伝子, ² 院理・生化)
- W1K-2 分裂酵母の減数分裂時に発現する遺伝子の mRNA の Mei2 による安定化
田中 祐嗣, 渡辺 嘉典, 山本 正幸 (東大・院理・生化)
- W1K-3 減数分裂前期のテロメアクラスター形成とその役割
近重 裕次^{1,2}, 辰見 香織^{1,2}, 平岡 泰^{1,2} (¹ 通信総合研究所, ² 科学技術振興事業団戦略的基礎研究)
- W1K-4 分裂酵母の還元型染色体分配におけるフェロモン応答、および組み換えの役割
山本 歩^{1,2}, 平岡 泰^{1,2} (¹ 郵政省・通総研, ² 科技団)
- W1K-5 分裂酵母 Mei13 は減数分裂特異的に発現し、減数分裂前期の相同染色体の秩序立った空間的配置を促進する
鍋島 建太郎¹, 柿原 嘉人¹, 平岡 泰², 野島 博¹ (¹ 阪大・微研・分子遺伝, ² 郵政省通信総研・関西先端研・生物情報)
- W1K-6 窒素源枯渇により多重発現する分裂酵母 *plx⁺* 遺伝子の解析
柿原 嘉人¹, 鍋島 建太郎¹, 平田 愛子², 野島 博¹ (¹ 阪大・微研・分子遺伝, ² 東大・分生研)

- W1K-7 減数第二分裂進行に関わる Cdc7/Dbf4 様キナーゼ複合体の解析
中村 太郎, 久保 道子, 下田 親 (大阪市大・院理・生物地球)
- W1K-8 線虫の整列 cDNA ライブラリーと RNAi 法を用いた生殖に必須な遺伝子の同定
花澤 桃世¹, 餅井 真^{2,4}, 上野 直人², 小原 雄治³, 飯野 雄一¹ (¹東大・遺伝子, ²基生研, ³遺伝研, ⁴現 姫工大)
- W1K-9 線虫 *C. elegans* の減数分裂制御因子
杉本 亜砂子^{1,2}, 丸山 理香¹, 辛島 健¹, 住吉 英輔¹, 前田 郁麻¹, 小原 雄治³, 山本 正幸¹ (¹東大・院理・生化, ²科技団・さきがけ, ³遺伝研・遺伝資源)
- W1K-10 線虫を用いた減数分裂過程の分子解明
東谷 篤志, 高浪 タカ子, 青木 秀年, 森 亮之, 笹川 洋平, 高橋 秀幸 (東北大・遺生研・遺伝子適応生態)
- W1K-11 相同染色体分配が異常なシロイヌナズナ突然変異体の原因遺伝子の解析
安積 良隆^{1,2}, Yi Hu², 鈴木 秀穂¹, Hong Ma² (¹神奈川大・理・応用生物, ²Penn. State Univ., Dept of Biol.)

W2A DNAの三次元構造に書き込まれた情報 非B型DNAの生命機能

2000年12月14日(木) 9:30 ~ 12:00 A会場
 世話人/座長: 大山 隆(甲南大・理), 刀祢 重信(川崎医大)

- W2A-1 Z-DNA--存在の検証と生物学的機能
 入江 伸吉(ニッピ(株)バイオマトリックス研究所)
- W2A-2 ヒトゲノム上に存在する三重鎖形成能を持つ配列のゲノム上ならびに核内での配置
 池村 淑道(遺伝研・進化遺伝)
- W2A-3 ミニサテライト DNA 及びテロメア様 DNA の 4 重鎖形成とタンパク質との相互作用
 片平 正人(横浜国大・工・化学生命)
- W2A-4 ゲノム上で周期性を示すベント DNA 構造の生物学的意義
 木山 亮一(工技院・生命研)
- W2A-5 Poly dA・poly dT の特殊 DNA 構造によるヌクレオソームの不安定化と転写制御
 清水 光弘¹, 三浦 茂樹¹, 森 竜広², 櫻井 貴之², 神藤 平三郎² (¹明星大・理工・化学, ²東薬大・薬)
- W2A-6 負の超らせんを擬態したベント DNA によるクロマチン構造と転写の制御
 西川 純一¹, 貴志 春香¹, 田中 茂生², 大山 隆¹ (¹甲南大・理・生物, ²国立遺伝研・細胞遺伝)
- W2A-7 アポトーシス実行過程におけるベント DNA の役割
 刀祢 重信(川崎医大・生化学1)
- W2A-8 哺乳類細胞 DNA 複製制御蛋白の核内ダイナミクス
 藤田 雅俊(愛知がんセ・腫瘍ウイルス)
- W2A-9 免疫グロブリンクラススイッチ組換え酵素が認識する DNA 構造
 木下 和生, 田代 純子, 吉川 清次, 鄭 一美, 武藤 太郎, 江藤 朋憲, 李 充基, 村松 正道, 本庶 佑(京大・院医・分子生物)

W2B シグナル伝達と分子認識

2000年12月14日(木) 9:30 ~ 12:00 B会場
 世話人/座長: 稲垣 冬彦(北大・院薬), 箱嶋 敏雄(奈良先端大・バイオ)

- W2B-1 活性酸素生成型 NADPH オキシダーゼ活性化と細胞極性決定のシグナル伝達と分子認識
 住本 英樹(九大・院医・分子病態学)
- W2B-2 シグナル伝達におけるドメイン相互の特異的認識
 稲垣 冬彦^{1,2}, 西田 元彦², 寺沢 宏明³ (¹北大・薬, ²CREST/JST, ³都臨床研)
- W2B-3 ERM タンパク質の電子顕微鏡による分子形態の解析
 石川 裕章^{1,2}, 田村 淳², 松井 毅^{2,3}, 佐々木 博之³, 月田 承一郎², 月田 早智子^{2,4} (¹奈良先端大・バイオ, ²京大・院医, ³KAN 研究所, ⁴京大・医短)
- W2B-4 細胞膜-細胞骨格リンカー蛋白質 radixin はいかにして接着分子を認識するか?
 箱嶋 敏雄¹, 浜田 恵輔¹, 清水 敏之¹, 松井 毅^{2,3}, 月田 承一郎², 月田 早智子^{2,4} (¹奈良先端大院・バイオ, ²京大・院医, ³KAN 研究所, ⁴京大・医技短大)
- W2B-5 Tertiary Structure of Epithelial Cadherin Extracellular Domain and Cell-Cell Adhesion Mechanism
 Jean-Rene Alattia, Tong Frances, Tong Kit I., Ikura Mitsuhiro (Ontario Cancer Institute, University of Toronto)

W2D シナプス可塑性の分子機構

2000年12月14日(木) 9:30 ~ 12:00 D会場
世話人/座長: 饗場 篤(東大・医科研), 真鍋 俊也(神戸大・医)

- W2D-1 NMDA 受容体-Ras 蛋白質情報伝達系の解析
饗場 篤¹, 山田 篤¹, 小西 知江子¹, 中村 健司¹, 中尾 和貴¹, 勝木 元也^{1,2} (¹東大・医科研・ヒト疾患セ,
²CREST)
- W2D-2 海馬神経細胞内シグナル伝達における Ras/ERK 系の機能
飯田 直幸¹, 瀧川 一彦², 木山 博資², 中村 俊¹, 服部 成介 (¹国立精神神経セ・診断, ²旭川医大・1解剖)
- W2D-3 線虫の嗅覚行動の可塑性への Ras-MAPK 経路の関与
広津 崇亮, 飯野 雄一 (東大・遺伝子実験施設)
- W2D-4 線虫 (*C. elegans*) の排泄行動遺伝子 *aex-1* は神経筋接合シナプスにおいて逆行性情報伝達を制御する。
戸井 基道, 岩崎 幸一 (工技院・生命研)
- W2D-5 *C. elegans* において二つの感覚情報の相互作用と連合学習能力を制御している新規分泌タンパク質
石原 健^{1,2}, 飯野 雄一³, 桂 勲^{1,2} (¹遺伝研・構造遺伝学研究センター, ²総研大・遺伝学, ³東大・遺伝子
実験施設)
- W2D-6 新しい変異導入法の開発による NMDA 受容体アミノ酸置換マウスの作成
笹岡 俊邦¹, 松田 由喜子¹, 江隅 英作¹, 鍋島 曜子², 真鍋 俊也³, 野口 茂⁴, 宮崎 純一⁵, 金子 清俊¹, 三品
昌美⁶, 鍋島 陽一² (¹国立精神神経セ, ²京大・院医, ³神戸大・医, ⁴明乳ヘルス研, ⁵阪大・院医, ⁶東大・
院医)
- W2D-7 前脳特異的に LBD-CREB S133A を発現するトランスジェニックマウスを用いた長期記憶形成の分子メカニ
ズムの解析
喜田 聡¹, Sheena Josselyn², 舩重 正一¹, Silva J. Alcino² (¹東京農大・応生科・バイオ, ²UCLA)
- W2D-8 A High Efficiency Protein Transduction System Proving the Role of Nuclear PKA in Long Lasting LTP
松下 正之, 富澤 一仁, 森脇 晃義, 松井 秀樹 (岡山大・医・第一生理)
- W2D-9 神経インパルスのパターンによるニューレグリンの機能変化
尾崎 美和子¹, 伊藤 康一², 宮川 幸江¹, 岸田 治夫¹, 矢野 良治¹ (¹理研・脳センター・細胞内情報, ²臨床
研・炎症)
- W2D-10 PDZ タンパク質をコードする新規ラット遺伝子 *mt1* の同定: メタンフェタミン逆耐性への関与
梶井 靖, 村岡 新一郎, 藤山 航, 平岡 秀一, 海野 麻未, 西川 徹 (精神神経セ・神経研・疾病 3)

W2E Male Germ Cell Development in Mammals 哺乳類の雄性生殖(細胞)分化

2000年12月14日(木) 9:30 ~ 12:00 E会場
世話人/座長: 野崎 正美(阪大・微研), 岡部 勝(阪大・遺伝情報)

- W2E-1 マウス精巣特異的に転写誘導される TISP 遺伝子群の包括的クローニングと機能解析
藤井 孝之¹, 田中 宏光², 蓬田 健太郎², 西宗 義武², 野島 博¹ (¹阪大・微研・分子遺伝, ²阪大・微研・動
物実験)
- W2E-2 精子細胞核に局在する新規カインース Haspin の解析
田中 宏光, 興相 順也, 井口 尚子, 中村 吉宏, カルロス カルバルホ, 西宗 義武 (阪大・微研・動物)
- W2E-3 マウス胎仔精巣の発生分化に関わる新たな遺伝子
中辻 憲夫 (京大・再生医学研究所・発生分化)
- W2E-4 VASA 遺伝子と生殖細胞の分化
野瀬 俊明 (三菱化学・生命研)

- W2E-5 精細胞細胞質での mRNA ポリ(A)鎖付加とその意義
柏原 真一¹, 庄 天¹, 野口 純子^{1,2}, 小倉 淳郎³, 馬場 忠¹ (¹筑波大・応生系, ²農水省・生物資源研, ³国立感染症研)
- W2E-6 新規コルジ体結合分子 fzip-1 欠損マウスにおける精子形成異常
八尾 良司¹, 夏目 康子¹, 杉谷 善信¹, 山中 ひとみ¹, 年森 清隆², 柳田 薫³, 佐藤 章³, 野田 哲生^{1,4} (¹癌研・研・細胞生物, ²宮崎医大・1解剖, ³福島医大・産, ⁴東北大・医・分子遺伝)
- W2E-7 精子形成細胞の分化と排除におけるセルトリ細胞の役割
白土 明子, 前田 智司, 中西 義信 (金沢大・薬)
- W2E-8 哺乳類生殖幹細胞の自己保存・増殖と分化の制御機構
蓬田 健太郎, 大田 浩, 田所 優子, 檜 曜, 今井 智章, 西宗 義武 (阪大・微研)
- W2E-9 精原細胞移植
小川 毅彦 (横浜市大・医・泌尿器)
- W2E-10 減数分裂を経て機能的精子に分化するゼブラフィッシュ雄生殖細胞の培養
酒井 則良¹, Nancy Hopkins² (¹福井県立大・海洋生物資源, ²マサチューセッツ工科大)

W2F シグナル伝達におけるプロテオリシス

2000年12月14日(木) 9:30 ~ 12:00 F会場
世話人/座長: 日和佐 隆樹 (千葉大・医), 久永 真市 (都立大・院理)

- W2F-1 低濃度 K252a と ALLN による細胞増殖シグナルに及ぼすプロテアーゼの影響
日和佐 隆樹¹, 牧 正敏², 鈴木 紘一³ (¹千葉大・医・一生化, ²名大院・生命農学・応生分, ³都老人研)
- W2F-2 アポトーシス誘導シグナル伝達におけるカスパーゼ 8 の役割
酒巻 和弘, 米原 伸 (京大・ウイルス研)
- W2F-3 アポトーシス初期過程におけるカスパーゼ-8 の活性化とビメンチン切断
森島 信裕 (理研・バイオアーキテクト)
- W2F-4 足場喪失時における caspase の活性化
安達 正晃, 井戸川 雅史, 安井 寛, 庄内 孝春, 今井 浩三 (札医大・医・一内)
- W2F-5 筋ジストロフィー症の分子機構におけるシグナル伝達とカルパイン
反町 洋之¹, 小野 弥子¹, 秦 勝志^{1,2}, 木村 映一^{1,2}, 中川 和博^{1,2}, 勝井 順子¹, 柿沼 良美^{1,3}, 前田 達哉², 阿部 啓子^{1,2,4}, 鈴木 紘一^{1,4} (¹東大院・農生科・応生化, ²東大・分生研, ³科学技術振興事業団, ⁴都老人研)
- W2F-6 プロテアーゼによる CDK5 の活性制御
久永 真市 (都立大・理・生物)
- W2F-7 Calpain 阻害による P 糖蛋白の蓄積と turnover の変化
大川 清 (慈恵医大・生化)
- W2F-8 飢餓応答のシグナリングとプロテオリシス-Apg7p を中心として
谷田 以誠, 上野 隆, 木南 英紀 (順天堂大・医・生化学第一)
- W2F-9 アルツハイマー病アミロイド セクレターゼと ADAM ファミリー
石浦 章一, 保戸田 二香, 浅井 将, 小池 恒, 笹川 昇 (東大・院・総合・生命)

W2G 細胞膜糖脂質とマイクロドメインの分子生物学

2000年12月14日(木) 9:30 ~ 12:00 G会場
世話人/座長: 竹田 潤二 (阪大・院医), 木下 タロウ (阪大・微研)

- W2G-1 スフィンゴ脂質の細胞内選別輸送: 分子生物学的展開を目指して
花田 賢太郎 (感染症研・細胞化学)

- W2G-2 スフィンゴシンキナーゼ新規アイソザイム SPHK2 のクローニング
杉浦 雅子¹, 河野 圭太¹, Liu Hong², Spiegel Sarah², 古浜 孝文¹ (¹三共(株)第一生物研究所, ²Georgetown Univ., USA)
- W2G-3 ラフト関連スフィンゴ糖脂質の合成遺伝子 GlcT-1 の構造と機能
平林 義雄, 香山-古金谷 綾子 (理研・脳センター・神経回路メカニズム)
- W2G-4 リンパ球活性化と Lipid Raft:Raft におけるチロシンリン酸化反応の制御
小杉 厚 (阪大・院医・病態生体情報)
- W2G-5 GPI アンカー型神経細胞接着分子 TAG-1 のラフトを介するシグナル伝達におけるスフィンゴ糖脂質の役割
笠原 浩二¹, 渡辺 和忠², 大平 敦彦³, 山本 雅⁴, 佐内 豊¹ (¹都臨床研, ²都老人研, ³愛知県コロニー, ⁴東大・医科研)
- W2G-6 マウス精子マイクロドメイン (ラフト) の受精における機能
山縣 一夫, 大村 功, 岩瀬 茂樹, 馬場 忠 (筑波大・応生系)
- W2G-7 コンディショナルジーンターゲットングによるスフィンゴ脂質の生理学的役割の解明
大須賀 壮^{1,4}, 小杉 厚², 安田 好文², 谷一 靖江², 近藤 玄¹, 如野 善弘¹, 平林 義雄⁴, 竹田 潤二^{1,3} (¹阪大・院医・社会環境医学 (修士), ²阪大・院医・病態生体情報, ³阪大先端センター, ⁴理研・脳センター・神経回路)

W2H 複製開始分子機構の普遍性

2000年12月14日(木) 9:30 ~ 12:00 H会場
世話人/座長: 釣本 敏樹 (奈良先端大・バイオ), 升方 久夫 (阪大・院理)

- W2H-1 Archaeal MCMs as a model for the eukaryotic replicative helicase
James Chong^{1,3}, Mariko Hayashi¹, Martha N. Simon², Ruiming Xu¹, Bruce Stillman¹ (¹Cold Spring Harbor Lab., USA, ²Brookhaven Natl. Lab., USA, ³Dep. Biol. & Biochem. Univ. Bath, UK)
- W2H-2 Regulating the Initiation of DNA Replication in Budding Yeast
John F.X. Diffeley (ICRF Clare Hall Lab., South Mimms, Herts. UK)
- W2H-3 分裂酵母複製開始点の認識と複製開始複合体形成
高橋 達郎¹, 山田 慶昭¹, 升方 久夫^{1,2} (¹阪大・院理・生物, ²さきがけ研究 21)
- W2H-4 真核細胞 DNA 複製開始装置
滝澤 温彦¹, 三村 覚¹, 増田 太郎¹, 和賀 祥², 杉野 明雄² (¹阪大・院理・生物科学, ²阪大・微研)
- W2H-5 Functions of Cdc7-related Kinase Complexes from Mammals and Fission Yeast in Initiation and Progression of SPhase
正井 久雄¹, 金 貞旻¹, 佐藤 憲子¹, 荻野 桂子², 松井 悦子², 谷山 智香², 山田 正之¹, 趙 民権¹, 竹田 忠行², 中尾 和貴³ (¹東大・医科研・染色体制御, ²科技団, ³東大・医科研・高次機能)
- W2H-6 Functions of Origin Recognition Complex (ORC) in Human Cells
Chikashi Obuse, Yasutoshi Tatsumi, Satoshi Ohta, Tomoko Ichise, Toshiki Tsurimoto, Hiroshi Yoshikawa (Nara Institute of Science and Technology)
- W2H-7 Association of functional pre-RCs with chromatin is not sufficient to specify the CHO DHFR replication origin
D. M. Gilbert¹, Y. Okuno¹, A. J. McNairn¹, S. M. Keezer¹, D. S. Dimitrova¹, L. Archibold¹, T. A. Prokhorova², J. J. Blow², N. Den Elzen³, J. Pines³ (¹Dept.Biochem. Mol. Biol., SUNY, Upstate Med. Univ. USA, ²CRC, Univ. Dundee, Scotland, ³Wellcome/CRC Inst., UK)

W2I ミトコンドリアゲノムの維持と障害の分子論

2000年12月14日(木) 9:30 ~ 12:00 I会場
世話人/座長: 康 東天(九大・院医), 中別府 雄作(九大・生医研)

- W2I-1 ミトコンドリア DNA 複製中間体 D-ループ構造の安定性はその分岐構造のコンフォメーションに依存する
康 東天¹, 梅田 修洋¹, 岩朝 光利¹, 福應 温², 岩崎 博史², 品川 日出夫², 濱崎 直孝² (¹九大・院医, ²阪大・微研)
- W2I-2 MIDAS:ミトコンドリア DNA の損傷を感知する新規因子
太田 成男¹, 石橋 佳朋¹, 向井 有理¹, 麻生 定光¹, 宗像 可枝², 後藤 雄一² (¹日本医大・老研生化, ²国立精神神経セ神経研)
- W2I-3 哺乳類ミトコンドリアで働く DNA 修復蛋白質とその修復系の意義
高尾 雅, 菅野 新一郎, 安井 明 (東北大・加齢研・遺伝子機能)
- W2I-4 ヒト神経組織における酸化的 DNA 損傷とミトコンドリア DNA 修復酵素の発現
中別府 雄作^{1,2} (¹九大・生医研・生化, ²科技団・CREST)
- W2I-5 ミトコンドリア呼吸能の消失を引き起こす酵母 *atm1-1* 変異とそのヒトオースローク MTABC3
千本木 裕^{1,2}, 三橋 登³, 三木 隆司³, 凌 楓^{1,2}, 清野 進³, 柴田 武彦^{1,2} (¹理研・遺伝生化学, ²CREST・科技団, ³千葉大・院医・分子機能)
- W2I-6 ミトコンドリアに存在する光回復酵素の精製と分析
龍治 英, 酒井 富士子, 田口 恵美子 (広島県立大・生物資源)
- W2I-7 母性遺伝のミトコンドリアゲノム消失に拮抗するミトコンドリアプラスミド
河野 重行 (東大・新領域・先端生命)
- W2I-8 Human mitochondrial DNA sublimons
Howard Jacobs (Inst.Med.Tech.Tampere Univ., Finland)

W2J アポトーシス

2000年12月14日(木) 9:30 ~ 12:00 J会場
世話人/座長: 辻本 賀英(阪大・院医)

- W2J-1 アデノウイルス E4orf6 と Bcl-2 ファミリーの相互作用
青柳 麻里子^{1,2}, 東野 史裕², 谷口 奈々江^{2,3}, 安田 元昭², 向後 隆男², 川崎 貴生³, 佐野 英彦¹, 進藤 正信² (¹北大・院歯・口腔健康, ²同・口腔病態, ³同・口腔機能)
- W2J-2 Ser46 のリン酸化と p53AIP1 による p53 依存性アポトーシスの誘導機構
田中 知明^{1,4}, 荒川 博文², 小林 稔子³, 玉井 克之³, 中村 祐輔², 田矢 洋一^{1,4} (¹国立がんセ・研・生物, ²東大・医科研・ヒトゲノムセ, ³MBL, ⁴CREST)
- W2J-3 Bcl-2 ファミリー蛋白によるアポトーシス制御機構の解析
清水 重臣, 辻本 賀英 (阪大・院医・バイオ・遺伝子学・科技団)
- W2J-4 Caspase 非依存的細胞死経路に関わる分子の遺伝学的スクリーニング
井垣 達史¹, 嘉糠 洋陸¹, 倉永 英里奈¹, 相垣 敏郎², 岡野 栄之^{1,3}, 三浦 正幸^{1,3} (¹阪大・医・神経機能解剖, ²都立大・理, ³CREST)
- W2J-5 Ras シグナル伝達因子により制御される非アポトーシス性プログラム細胞死の神経芽腫の自然退縮における役割
北中 千史¹, 加藤 啓輔², 井尻 理恵子², 田中 祐吉², 口野 嘉幸¹ (¹国立がんセ・研・生物物理, ²神奈川県立こども医療セ・病理)

- W2J-6 Balb3T3 細胞における MAPK による Fas を介するアポトーシスを抑制するには CREB の活性化が必要である
風間 啓敬¹, 岡本 一男¹, 藤沢 順一², 米原 伸¹ (¹京大・ウイルス研, ²関西医大)
- W2J-7 ASK1 を介した小胞体ストレスによる JNK 活性化ならびにアポトーシスの分子機構
西頭 英起, 松沢 厚, 飛梅 圭, 武田 弘資, 一條 秀憲 (東京医歯大・院・分子情報伝達学)
- W2J-8 小胞体ストレスによる神経細胞死のメカニズム
人見 淳一^{1,3}, 片山 泰一^{1,2,3}, 今泉 和則^{1,2,3}, 遠山 正彌^{1,3} (¹阪大・医・機能形態(第二解剖), ²田辺製薬(株)創薬研究所, ³CREST.JST.)
- W2J-9 XIAP のユビキチンリガーゼ活性による Caspase-3 の分解と抗アポトーシス作用の増強
鈴木 泰行, 中林 ゆい, 高橋 良輔 (理研・脳科学総研セ)

W2K ゲノムを作り変える利己的遺伝子とゲノムの防御

2000年12月14日(木) 9:30 ~ 12:00 K会場
世話人/座長: 小林 一三 (東大・医科研), 大矢 禎一 (東大・院新領域)

- W2K-1 制限酵素修飾酵素遺伝子: ゲノムを作り変える利己的な動く遺伝子
小林 一三 (東大・医科研)
- W2K-2 枯草菌染色体由来の制限修飾遺伝子の解析
大島 英之^{1,3}, 朝井 計², 定家 義人² (¹総研大・生命科学・遺伝, ²埼玉大・理・分子生物, ³遺伝研)
- W2K-3 利己的遺伝因子としてのコリシン
正木 春彦, 大澤 豊 (東大・農生科・応生工)
- W2K-4 ホーミングエンドヌクレアーゼのゲノム侵略
野上 識, 福田 智行, 長井 由利, 大矢 禎一 (東大・院新領域・先端生命)
- W2K-5 部位特異的から普遍的な組換え開始酵素への進化
水村 光, 柴田 武彦, 森島 信裕 (理研・遺伝生化学)
- W2K-6 エンドヌクレアーゼ TRAS1EN はテロメア反復配列を特異的に切断する
安西 智宏, 藤原 晴彦 (東大・院新領域・先端生命科学)
- W2K-7 アラビドプシス ddm1 突然変異によるゲノム DNA 低メチル化と発生異常誘発とトランスポゾン活性化
角谷 徹仁^{1,2,3}, 米林 渉司^{3,4}, 三浦 明日香^{1,2}, 渡辺 光一², 遠山 知子², 島田 浩章^{2,4}, 広近 洋彦^{2,3}, 島田 浩章⁴, 広近 洋彦³ (¹国立遺伝研, ²CREST, ³農業生物資源研, ⁴東京理大)
- W2K-8 減数分裂期相同組換えによるゲノム維持・防御の仕組み
太田 邦史^{1,2}, Michael Lichten³, 柴田 武彦² (¹理研・染色体動態制御, ²理研・遺伝生化, ³NIH, USA)
- W2K-9 制限・修飾系とフゼジの共進化
佐々木 顕 (九大・院・理)
- W2K-10 プラスミドレプリコンの維持への DNA 複製開始制御因子の分子適応
犬塚 學, 松井 幸恵 (福井医大・医・生化)
- W2K-11 細胞内共生細菌の生存戦略
石川 統 (東大・院理・生物)

W3A 多様な先端可視化技術と分子生物学の接点を考える

2000年12月15日(金) 9:30 ~ 12:00 A会場
 世話人/座長: 福井 希一(阪大・院工), 原島 俊(阪大・院工)

- W3A-1 Ultrasensitive Detection of Nucleic Acid and Protein Targets Using Rolling Circle DNA Amplification
 David C. Ward, Xiaobo Zhong, Xiaohua Huang, Paul Lizardi, Patricia Bray-Ward (Dept. of Genet. and Pathol., Yale Univ. Sch. Med.)
- W3A-2 FISH法を用いた植物ゲノムにおける遺伝子の可視化
 近江戸 伸子(北陸農業試験場)
- W3A-3 真核細胞核内イベントの可視化
 奥村 克純¹, 野上 正弘², 香田 淳¹, 籠谷 和弘¹, 竹林 慎一郎¹, 加納 豊¹, 鈴木 史人¹, 田口 寛¹, 中尾 光善³, 白髭 克彦⁴(¹三重大・生資,²東海大・医,³熊本大・医,⁴奈良先端大・バイオ)
- W3A-4 走査プローブ顕微鏡による1分子DNA可視化技術
 川合 知二(阪大・産研)
- W3A-5 走査型プローブ顕微鏡でみる生体分子系の形と働き
 横山 浩¹, 井上 貴仁¹, 平田 芳樹²(¹電総研,²生命研)
- W3A-6 微細加工技術・可視化技術とDNAの分子操作・分子加工
 鷲津 正夫(京大・機械工学)
- W3A-7 3次元デコンボリューションにより機能を見る
 福井 希一¹, 若生 俊行²(¹阪大・院工・応生,²生物研・遺資)

W3B ゲノム情報科学の新展開

2000年12月15日(金) 9:30 ~ 12:00 B会場
 世話人/座長: 中井 謙太(東大・医科研), 高木 利久(東大・医科研)

- W3B-1 ゲノムオントロジーの開発
 高木 利久(東大・医科研・ヒトゲノム解析セ)
- W3B-2 「ゲノム統合データベースからの知識発見」で近未来に実現したいこと
 森下 真一(東大・理・情報科学)
- W3B-3 ゲノム情報と構造生物学の橋渡し
 郷 通子(名大・院理・生命理学)
- W3B-4 大規模遺伝子ネットワークの相互作用推定: 遺伝子ネットワーク予測のための情報技術
 岡本 正宏¹, 柏木 浩², 牧 幸浩², 富永 大介², 古賀 信人², 吉廣 保²(¹九大・農学研究院・生物機能科学,²九工大・情報工・生化システム工学)
- W3B-5 線虫 *C.elegans* における遺伝子発現パターンのクラスタリング解析
 伊藤 将弘^{1,2}, 水口 洋平², 芹澤 路子², 廣野 啓子^{1,2}, 小原 雄治^{1,2}(¹CREST・JST,²遺伝研・遺伝資源)
- W3B-6 標準遺伝子系統樹の作成
 遠藤 俊徳, 荻島 創一, 田中 博(東京医歯大・生命情報)
- W3B-7 オリゴキャップ法によるヒト全長cDNAの*in silico*機能解析・機能分類
 大槻 哲嗣¹, 林 浩司¹, 太田 紀夫¹, 西川 哲夫¹, 杉山 友康¹, 入江 亮太郎¹, 佐藤 寛之¹, 鈴木 穰², 河合 弓利¹, 石井 静子¹, 齋藤 薫¹, 山本 順一¹, 若松 愛¹, 五十野 祐子¹, 中村 義隆¹, 永井 啓一¹, 菅野 純夫², 増保 安彦¹, 磯貝 隆夫¹(¹ヘリックス研,²東大・医科研)

- W3B-8 オリゴキャッピング法を用いたヒト転写制御領域に関する統計解析
鈴木 穰¹, 角田 達彦¹, 平 博順², 水島 (菅野) 純子¹, 瀬瀬 順⁵, 秦 裕子¹, 太田 紀夫⁶, 磯貝 隆夫³, 榊 佳之^{1,4}, 田中 敏博¹, 中村 祐輔¹, 森下 真一⁵, 大久保 公策⁷, 陶山 明⁵, 菅野 純夫¹ (¹東大・医科研, ²NTT, ³ヘリックス研, ⁴理研, ⁵東大, ⁶協和, ⁷阪大)
- W3B-9 READ: Riken Expression Array Database
坊農 秀雅¹, 三木 理雅^{1,2}, 門田 幸二^{1,3}, 岡崎 康司¹, 林崎 良英^{1,2,4} (¹理研・GSC・遺伝子構造機能/筑波研・生体分子, ²筑波大・医, ³東大・院農, ⁴JST・CREST)
- W3B-10 HGREP: Human Genome REconstruction Project
Tetsushi Yada¹, Yoshiyuki Sakaki^{1,2}, Toshihisa Takagi² (¹RIKEN GSC, ²IMS, Univ.Tokyo)

W3D 神経細胞の形態制御

2000年12月15日(金) 9:30 ~ 12:00 D会場
世話人/座長: 貝淵 弘三 (名大・院医), 竹居 光太郎 (科技団・ERATO)

- W3D-1 神経細胞の軸索・樹状突起の運命決定と細胞極性
貝淵 弘三 (名大・医・細胞情報薬理)
- W3D-2 神経細胞の突起形成: 成長円錐の形成と突起伸長の分子機構
竹居 光太郎¹, 御子柴 克彦^{1,2,3} (¹科技団, ²東大・医科研, ³理研・脳総研)
- W3D-3 神経細胞の軸索伸長とガイダンス機構
平田 たつみ¹, 佐藤 泰史^{1,2} (¹国立遺伝研, ²名大・院)
- W3D-4 微小管関連蛋白による神経細胞の形態制御
原田 彰宏, 広川 信隆 (東大・院医・細胞生物)
- W3D-5 神経系前駆細胞及び成熟ニューロンの非対称性に関する細胞生物学的解析
岡野 栄之^{1,3}, 飯島 崇利¹, 川口 綾乃¹, 宮田 卓樹², 今井 貴雄¹, 小川 正晴^{2,3} (¹阪大・医・神経機能解剖, ²理研・脳研・細胞培養技術開発, ³CREST)
- W3D-6 シナプスの形態変化と機能分子の動態
岡部 繁男^{1,2,3} (¹東京医歯大・院, ²CREST, ³生命工学工業技術研究所)

W3E 生殖細胞の成立基盤

2000年12月15日(金) 9:30 ~ 12:00 E会場
世話人/座長: 松居 靖久 (大阪府立母子保健総合医療セ), 小林 悟 (筑波大・TARAセ)

- W3E-1 ショウジョウバエの生殖細胞における *vasa* 遺伝子の発現制御機構
佐野 浩子¹, 中村 輝¹, 向 正則¹, 小林 悟^{1,2} (¹筑波大・生物科学, ²遺伝子セ)
- W3E-2 プラナリア *nanos* 遺伝子による生殖系幹細胞の同定とその起源
佐藤 仁泰, 渡辺 憲二 (姫路工大・理・生命)
- W3E-3 線虫 *C. elegans* の生殖顆粒の構成蛋白質 PGL-1,2,3 の分子機能の解析
川崎 一郎^{1,2}, A. Amiri², Y. Fan², 辛島 健³, 小原 雄治¹, S. Strome² (¹遺伝研, ²インディアナ大学, ³東大・理・生化)
- W3E-4 マウス始原生殖細胞発生における Smad1 の役割
林 克彦¹, 入野 亮¹, 小林 隆志², 後飯塚 僚¹, 北村 大介¹ (¹東京理大・生命研・分子生物, ²ロックフェラー大・免疫)
- W3E-5 マウス生殖細胞の決定とその特性を担う分子同定の試み
田中 聡, 松居 靖久 (大阪府立母子保健総合医療セ研)

W3E-6 マウス始原生殖細胞における機能分子の解析

木村 透¹, 鈴木 聡¹, 加藤 友紀子¹, H. Lomeli⁵, 伊川 正人⁴, 蓬田 健太郎², 竹田 潔³, 中馬 新一郎⁶, 中辻 憲夫⁶, 審良 静夫³, T. Mak⁷, A. Nagy⁵, 岡部 勝⁴ (¹ 阪大・微研・遺伝子動態, ² 実験動物, ³ 癌抑制遺伝子, ⁴ 遺伝情報実験施設, ⁵ Mount Sinai Hospital, ⁶ 京大・再生研)

W3F PPAR - 多様な機能をもつ核内レセプタ -

2000年12月15日(金) 9:30 ~ 12:00 F会場

世話人/座長: 大隅 隆 (姫路工大・理), 本島 清人 (東邦大・薬)

W3F-1 PPAR の機能メカニズム

大隅 隆 (姫路工大・理・生命科学)

W3F-2 PPAR による常態調節と病態との関連

青山 俊文 (信州大・医・加齢生化)

W3F-3 個体遺伝子導入法を用いた PPAR 依存的組織特異的遺伝子転写調節機構の解析

本島 清人 (東邦大・薬・生化学)

W3F-4 成熟脂肪細胞における PPAR の機能解析

田守 義和, 馬杉 治郎, 春日 雅人 (神戸大・医・二内)

W3F-5 核内受容体 PPAR によるインスリン遺伝子の転写抑制

柿澤 供子, 宮本 高秀, 市川 和夫, 鈴木 悟, 橋爪 潔志 (信州大・医・老年科)

W3F-6 脂肪細胞の分化にともない発現が誘導される PPAR の新規 co-factor, PGC2

亀井 康富, 垣塚 彰 (大阪バイオサイエンス研)

W3F-7 NIK からのシグナルと PPAR 転写制御機構に及ぼす負のクロストーク

須澤 美幸^{1,2}, 高田 伊知郎^{1,3}, 後藤 由季子¹, 澁谷 浩司⁴, 松本 邦弘⁵, 柳沢 純^{1,2}, 加藤 茂明^{1,2} (¹ 東大・分生研, ² CREST・科技団, ³ 京大・ウイルス研, ⁴ 東京医歯大・難治研, ⁵ 名大・院理)

W3F-8 誘導型シクロオキシゲナーゼ遺伝子発現の PPAR によるフィードバック制御

井上 裕康¹, 田辺 忠¹, 梅園 和彦² (¹ 国立循環器病セ・研・薬理, ² 京大・ウイルス研)

W3F-9 PPAR によるインスリン感受性調節メカニズム

門脇 孝, 山内 敏正, 窪田 直人, 寺内 康夫, 三木 啓司, 脇 裕典, 加門 淳司, 原 一雄, 木村 哲, 永井 良三 (東大・医・内科)

W3G 細菌感染の分子機構

2000年12月15日(金) 9:30 ~ 12:00 G会場

世話人/座長: 笹川 千尋 (東大・医科研), 堀口 安彦 (阪大・微研)

W3G-1 病原因子の宿主細胞へのデリバリーシステム

阿部 章夫 (北里研・細菌第二)

W3G-2 赤痢菌の上皮感染における細胞骨格ダイナミズム

笹川 千尋 (東大・医科研)

W3G-3 リステリア由来溶血タンパク毒素の膜傷害活性と宿主免疫誘導活性

光山 正雄 (京大・医・微生物)

W3G-4 黄色ブドウ球菌のロイコシジン及びヘモリジンの分子機構

神尾 好是 (東北大・院農・応生科)

W3G-5 ボツリヌス神経毒素の受容体

小崎 俊司 (大阪府大・院・農学生命)

- W3G-6 ヘリコバクター・ピロリ VacA 毒素の Receptor Protein-tyrosine Phosphatase (RPTP) を介した細胞毒性発現
和田 昭裕, 平山 壽哉 (長崎大・熱帯医学研)
- W3G-7 病原細菌が産生する細胞周期特異的増殖阻害毒素 Cytolethal Distending Toxin
上野 葉子¹, 藤原 環¹, 小原 勝¹, 小松澤 均¹, Eric Oswald², 菅井 基行¹ (¹広島大・歯・口腔細菌, ²INRA-ENVT, France)
- W3G-8 *Bordetella* 壊死毒の Rho GTPase への作用と機能ドメインの役割
堀口 安彦¹, 増田 美奈子^{1,2}, 松澤 健志¹ (¹阪大・微研・分子細菌, ²北里研・細菌2)

W3H リング状オリゴマーを形成する AAA⁺ ATPase の分子機構

2000年12月15日(金) 9:30 ~ 12:00 H会場
世話人/座長: 小椋 光 (熊本大・発生研), 秋山 芳展 (京大・ウイルス研)

- W3H-1 AAA ATPase の ATP 加水分解・基質リモデリング機構
小椋 光¹, 唐田 清伸¹, 稲川 卓文¹, C. Verma², A.J. Wilkinson² (¹熊本大・発生研・細胞複製, ²York 大・化学)
- W3H-2 大腸菌 AAA プロテアーゼ FtsH の基質認識・分解機構
秋山 芳展^{1,2}, 千葉 志信^{1,2}, 才川 直哉^{1,2}, 伊藤 維昭^{1,2} (¹京大・ウイルス研, ²科技団・CREST)
- W3H-3 分子シャペロン ClpB の持つ2つの ATP 結合モチーフの役割
渡辺 洋平¹, 本橋 健², 吉田 賢右¹ (¹東京工大・資原研, ²北大・院薬)
- W3H-4 大腸菌の細胞内凝集蛋白の除去機構について
友安 俊文¹, Axel Mogk², Bernd Bukau² (¹千葉大・薬・微生物, ²フライブルグ大)
- W3H-5 ポリグルタミンの凝集体形成における分子シャペロンの役割
木村 洋子, 藤田 尚志 (都臨床研・腫瘍細胞)
- W3H-6 ペルオキシソーム形成における AAA 蛋白質 (Pex1p および Pex6p) の役割
田村 茂彦¹, 松元 奈緒美², 藤木 幸夫^{1,2} (¹九大・院理・生物科学, ²科技団・CREST)
- W3H-7 出芽酵母 RuvB ホモログ Tihp/Rvbp の転写制御への関与
河野 憲二^{1,2}, 大館 秀純¹, Chun Ren Lim³, 古久保 哲朗⁴, 堀米 恒好⁵, 木俣 行雄^{1,2} (¹NAIST・遺伝子セ, ²CREST, ³DNA チップ研, ⁴NAIST・バイオ, ⁵新潟大・理)
- W3H-8 Regulation of Mcm4,6,7 DNA helicase activity
石見 幸男¹, 佐藤 道夫¹, 駒村-河野 有紀¹, 尤 志英² (¹三菱化学・生命研, ²理研・細胞生理)
- W3H-9 クランプローダー、RFC の構造と機能。
塩見 泰史¹, 白倉 治郎², 正村 裕介³, 竹安 邦夫³, 小布施 力史¹, 吉川 寛¹, 釣本 敏樹¹ (¹奈良先端大・バイオ, ²名大・医・解剖, ³京大・生命科学)

W3I 染色体機能の変動とクロマチン構造変換

2000年12月15日(金) 9:30 ~ 12:00 I会場
世話人/座長: 舩本 寛 (名大・院理), 広瀬 進 (国立遺伝研), 石川 冬木 (東京工大)

- W3I-1 クロマチン構造変換と転写活性化
広瀬 進 (国立遺伝研・形質遺伝)
- W3I-2 CAF-1 は高等植物の後胚発生において重要な役割を果たす
賀屋 秀隆¹, 柴原 慶一², 田岡 健一郎¹, 小林 恭士¹, 飯 哲夫¹, 岩淵 雅樹¹, Bruce Stillman², 荒木 崇¹ (¹京大・理・植物, ²CSHL)

- W3I-3 A Chromodomain Protein, Swi6, Performs Imprinting Functions in Fission Yeast during Mitosis and Meiosis
Jun-ichi Nakayama¹, Amar Klar², Shiv Grewal¹ (¹Cold Spring Harbor Laboratory, ²National Cancer Institute)
- W3I-4 出芽酵母の増殖におけるクロマチン構造変換制御
土屋 英子, 千住 浩之, 小山 浩史, 湯川 格史, 宮原 浩二 (広島大・院・先端物質研)
- W3I-5 クロマチン構造変換に關与するアクチン関連タンパク質
原田 昌彦¹, 尾間 由佳子¹, 佐々木 光穂¹, 新井 望¹, 望月 亮¹, 加藤 愛², 水野 重樹³ (¹東北大・院農・分子生物, ²通産省・工技院・生命研, ³日大・生資科・農化)
- W3I-6 DNA 末端複製問題の試験管内再構成
大木 理恵子¹, 釣本 敏樹², 石川 冬木¹ (¹東京工大・院生命理工, ²奈良先端大・バイオ)
- W3I-7 分裂酵母セントロメア特異的クロマチンの順応性に富む性質
高橋 考太^{1,2}, 陳 毅欣², 柳田 充弘^{1,2} (¹京大・生命科学, ²京大・理)
- W3I-8 ヒトセントロメアのクロマチン構造の形成と変換機構
舛本 寛, 中野 めぐみ, 鈴木 伸卓 (名大・院理・生命理学)

W3J プロテインフラックス&トラフィック

2000年12月15日(金) 9:30 ~ 12:00 J会場
世話人/座長: 遠藤 斗志也 (名大・院理), 三原 勝芳 (九大・院医)

- W3J-1 哺乳類サイトソルの hsc70 分子シャペロン系がタンパク質輸送に果たす役割
寺田 和豊, 森 正敬 (熊本大・医・分子遺伝)
- W3J-2 ミトコンドリアをめぐるプロテインフラックス
遠藤 斗志也 (名大・院理)
- W3J-3 枯草菌菌体外タンパク質のプロテイントラフィック
山根 國男, 中村 幸治, 武内 桂吾, 掛下 大視 (筑波大・生物科学)
- W3J-4 ミトコンドリア外膜と小胞体間での膜タンパク質の仕分け機構
三原 勝芳 (九大・院・医学系研究科)
- W3J-5 核 - 細胞質間機能分子輸送: 輸送担体の性質と輸送経路の多彩性
今本 尚子 (国立遺伝研・構造遺伝学研究セ・遺伝子回路)
- W3J-6 How the ER talks to the nucleus
Peter Walter (Howard Hughes Med. Inst. & Dept. of Biochem. and Biophys., Univ. of California, Sch. of Med., San Francisco, USA)

W3K タンパク質リン酸化、脱リン酸化による生体機能制御

2000年12月15日(金) 9:30 ~ 12:00 K会場
世話人/座長: 南 康博 (神戸大・医), 的崎 尚 (阪大・院医)

- W3K-1 Wnt シグナル伝達経路における β -カテニンのリン酸化の制御機構
菊池 章, 岸田 昭世, 岸田 想子, 山本 英樹 (広島大・医・生化)
- W3K-2 Wnt シグナル伝達系を制御する TAK1-NLK MAP キナーゼカスケード
石谷 太¹, 辻 順^{1,2}, 澁谷 浩司³, 久本 直毅¹, 松本 邦弘^{1,2} (¹名大・院・理学研, ²CREST・科技団, ³基礎生物研究所)
- W3K-3 ASK1 のリン酸化・脱リン酸化による活性制御とアポトーシスのシグナル伝達
一條 秀憲 (東京医歯大・院・分子情報)
- W3K-4 Protein phosphatase 2C(PP2C)によるストレス応答 MAPK およびアポトーシスの制御
武川 睦寛^{1,2}, 今井 浩三¹ (¹札幌医大・医・一内, ²東大・医科研・分子細胞情報)

- W3K-5 分裂酵母モデル系を用いたカルシニューリンの標的分子の同定と機能解析
杉浦 麗子¹, 春藤 久人², 久野 高義¹ (¹神戸大・医・薬理, ²神戸大・医・保健)
- W3K-6 チロシンフォスファターゼによる細胞の運動・接着の制御機構
的崎 尚, 高井 義美 (阪大・院医・分子生理化学)
- W3K-7 受容体型チロシンホスファターゼ PTP (RPTP) による脳機能調節機構
前田 信明^{1,2} (¹基生研, ²総研大)
- W3K-8 新規チロシンキナーゼ基質 BCAP : B細胞抗原受容体とホスファチジルイノシトール 3-キナーゼをつなぐ新たなメカニズム
岡田 峯陽^{1,3}, 前田 明人^{1,4}, 岩松 明彦², 後藤 久美子¹, 黒崎 知博¹ (¹関西医大・肝研・分子遺伝, ²キリン・基盤技術研, ³生理研・液性情報, ⁴京大・医・分子免疫)
- W3K-9 Critical role for the docking protein FRS2 in signaling via FGF receptor in embryonal development
Noriko Gotoh, Yaron Hadari, Haruhiko Kouhara, Irit Lax, Joseph Schlessinger (New York University Medical School, Dept. Pharmacology)
- W3K-10 Ror ファミリー受容体型チロシンキナーゼによるボディープラン制御
大石 勲¹, 審良 静男², 高田 慎治³, 南 康博¹ (¹神戸大・医・医動物, ²阪大・微研, ³京大・理・分子発生センター)

W4A 高次生命現象を遺伝子でどこまで説明可能か？

2000年12月16日(土) 9:30 ~ 12:00 A会場
世話人/座長: 近藤 滋(徳島大・総合科学), 芝 清隆(癌研)

- W4A-1 From Peptide Replicators to Self-Organized Autocatalytic Networks. Studies Aimed at Modeling the Transition from Inanimate to Animate Chemistry
Alan Saghatelian, M. Reza Ghadiri (The Scripps Res. Inst., the Skaggs Inst. for Chem. Biol.)
- W4A-2 配列中に含まれるアミノ酸の種類を減らした酵素の作製法
赤沼 哲史, 木川 隆則, 横山 茂之(理研・ゲノム科学セ)
- W4A-3 Emergence of Rudimentary Biological Structures from the Reiteration of Short DNA Sequence
芝 清隆(癌研・細生)
- W4A-4 マウス発癌モデルによる複雑系での遺伝因子究明; 機能遺伝学的アプローチ
永瀬 浩喜^{1,3}, 毛 建華³, Balmain Allan³, 日下部 守昭², 佐藤 孝明¹(¹理研・分子腫瘍, ²理研・遺伝子基盤, ³UCSF, USA)
- W4A-5 大腸菌の網羅的発現プロファイル解析システムの構築
大島 拓¹, 和田 千恵子^{1,3}, 川越 雄弥², 荒 武¹, 前田 真希¹, 平賀 壯太^{1,4}, 森 浩禎^{1,2}(¹CREST, ²奈良先端大・遺伝子教育研究センター・生体情報, ³京大・ウイルス研・高次生体情報, ⁴熊本大・発生医学研究センター胚形成部門・細胞複製分野)
- W4A-6 線虫 *C.elegans* 初期胚のコンピューター解析
大浪 修一^{1,2}, 長崎 正朗^{1,3,4}, 濱橋 秀互^{1,5}, 宮野 悟^{1,4}, 北野 宏明^{1,2,6}(¹北野共生・ERATO・科技団, ²Caltech, USA, ³東大・院理・情報, ⁴東大・医科研, ⁵慶應大・院理工・計算機, ⁶Sony CSL)
- W4A-7 線虫 *C.elegans* 初期胚発生のコンピュータモデル化に向けて
小川 知之^{1,2}, 水口 洋平^{1,2}, 伊藤 将弘^{1,2}, 小原 雄治^{1,2}(¹CREST・JST・遺伝研・遺伝資源, ²(株)CTI)
- W4A-8 Kinetic simulation によるシグナル伝達経路の評価と考察
黒田 真也^{1,2}, Nicolas Schweighofer¹, 貝淵 弘三², 川人 光男^{1,3}(¹ERATO・川人学習動態脳プロジェクト, ²NAIST・細胞内情報, ³ATR・HIP)
- W4A-9 動物の形態形成かかわる動的メカニズムとその遺伝子制御
近藤 滋(徳島大・総合科学)

W4B DNA 修復の分子機構

2000年12月16日(土) 9:30 ~ 12:00 B会場
世話人/座長: 花岡 文雄(阪大・細生工セ), 田中 亀代次(阪大・細生工セ)

- W4B-1 転写と DNA 除去修復の共役に関する蛋白質
田中 亀代次, 神内 伸也, 西條 将文, 米増 理恵, 中津 可道, 東 雄二郎, 近藤 壽人(阪大・細生工セ)
- W4B-2 ヌクレオチド除去修復における多段階損傷認識機構
菅澤 薫^{1,2}, 岡本 知子¹, 清水 祐一郎¹, 益谷 央豪^{2,3}, 岩井 成憲⁴, 花岡 文雄^{1,2,3}(¹理研・細胞生理, ²科技団・CREST, ³阪大・細生工セ, ⁴生物分子工研)
- W4B-3 DNA polymerase 欠損マウスにおける DNA 鎖切断修復能の解析
菅生 紀之, 荒谷 康昭, 新見 直子, 小山 秀機(横浜市大・木原生研, 同・院・総合理学)
- W4B-4 ミスマッチ修復能を欠くマウス細胞における A/C ミスマッチ修復活性-long-patch mismatch repair と short-patch mismatch repair との cross talk
織田 信弥^{1,2}, Peter Karran²(¹九州がんセ・臨床研・病理, ²Mammalian DNA Repair Lab., ICRF Clare Hall, UK)

- W4B-5 姉妹染色分体間の DNA 組換えに Msh2 が関与している
小野田 文俊^{1,2}, 関 政幸¹, 榎本 武美¹ (¹ 東北大・院薬・遺伝子薬, ² ヒューマンサイエンス振興財団)
- W4B-6 DNA 修復遺伝子 NBS1 ノックアウト DT40 細胞の作成と表現型解析
田内 広¹, 森島 賢一¹, 小林 純也¹, 山下 由起子², 園田 英一朗², 高田 穰², 武田 俊一², 松浦 伸也¹, 小松 賢志¹ (¹ 広島大・原医研・放射線基礎, ² 京大・院医)
- W4B-7 複製後修復において重要な役割を担うヒト Rad18 遺伝子
立石 智¹, 桜庭 善行², 井上 弘一², 山泉 克¹ (¹ 熊本大・発生研センター・組織制御, ² 埼玉大・理・生体制御)
- W4B-8 XPV ポリメラーゼ (イータ) による損傷乗り越え複製の分子機構
益谷 央豪^{1,2}, 楠本 理加¹, 岩井 成憲³, 花岡 文雄^{1,2,4} (¹ 阪大・細生工セ, ² 科技団・CREST, ³ 生物分子工研, ⁴ 理研・細胞生理学)
- W4B-9 哺乳動物細胞での修復ネットワーク
安井 明 (東北大・加齢研・遺伝子機能)

W4D パターン形成の分子機構

2000年12月16日(土) 9:30 ~ 12:00 D会場
世話人/座長: 佐々木 洋 (阪大・細生工セ), 日比 正彦 (阪大・院医)

- W4D-1 Rel ファミリーは、オーガナイザーの形成に必須な転写因子 Foxa2(HNF3)のエンハンサーを活性化する
西崎 有利子¹, 藤塚 有紀¹, 藤田 尚志², 井上 純一郎³, 審良 静男⁴, 近藤 寿人¹, 佐々木 洋¹ (¹ 阪大・細生工セ, ² 都臨床研, ³ 慶應大・理工, ⁴ 阪大・微研)
- W4D-2 初期パターン形成における *Otx2* と *Cripto* 遺伝子の相補的機能
木村 千春¹, M. Michael Shen², 相沢 慎一^{1,3}, 松尾 勲¹ (¹ 熊本大・発生医学研究センター・胚形成部門・形態形成分野, ² UMDNJ-RObert Wood Johnson Medical School, ³ 理研・発生再生科学研究センター・ボディプラン研究グループ)
- W4D-3 ゼブラフィッシュ *dharma/bozozok* による *chordin* の発現調節機構の解析
清水 貴史, 藤井 律子, 山中 庸次郎, 柳 成林, 橋本 寿史, 日比 正彦, 平野 俊夫 (阪大・院医・バイオセ・腫瘍病理)
- W4D-4 網膜の背腹軸形成と BMP4
小柴 和子¹, 竹内 純¹, 仲村 春和², 小椋 利彦¹ (¹ 奈良先端大・バイオ, ² 東北大・加齢研)
- W4D-5 ゼブラフィッシュ網膜における神経細胞分化の波の形成機構
政井 一郎, 岡本 仁 (理研・脳総研セ・発生遺伝子)
- W4D-6 体節の前後極性の形成における *Mesp2* と *Notch* シグナリングの役割
高橋 雄¹, 小泉 健一², 北嶋 聡¹, 高木 篤也¹, 井上 達¹, 古閑 明彦², 相賀 裕美子¹ (¹ 国立衛研・毒性, ² 千葉大・院医)
- W4D-7 受容体による位置情報の提示機構
平本 正輝^{1,2}, 広海 健¹, 堀田 凱樹^{1,3} (¹ 遺伝研・発生, ² さきがけ, ³ 戦略)
- W4D-8 線虫の神経左右非対称性を制御する新規 MAPK カスケード
日野 未歩¹, 久本 直毅¹, 中野 俊詩¹, 川崎 正人¹, 辻 順¹, A. Sagasti², C.I. Bargmann², 松本 邦弘¹ (¹ 名大・院理・生命理、科技団, ² UCSF, USA)
- W4D-9 Wnt シグナル伝達経路の新たな制御因子 ICAT の同定とその作用
中村 勉¹, 多胡 賢一^{1,2}, 西田 満³, 兵頭 純子³, 村田 陽二¹, 足達 俊吾¹, 大和田 進², 森下 靖雄², 澁谷 浩司³, 秋山 徹¹ (¹ 東大・分生研, ² 群馬大・医, ³ 基生研)

W4E エンドソーム・リソソーム機能の発現と制御

2000年12月16日(土) 9:30 ~ 12:00 E会場
世話人/座長: 吉森 保(基生研), 和田 洋(阪大・産研)

- W4E-1 全ての道はリソソームへ通ず~エンドソーム系とオートファジーの分子機構~
吉森 保(基生研・細胞生物)
- W4E-2 PI3-Kとの相互作用を介したApg6p/BeclinのGolgi-エンドソーム間輸送及びオートファジーにおける役割
木原 章雄, 野田 健司, 吉森 保, 大隅 良典(基生研)
- W4E-3 LAMP-2 is involved in the maturation of autophagic vesicles.
田中 嘉孝^{1,2}, Eeva-Liisa Eskelinen³, Anke Suter², Judith Blanz², Kurt von Figura², Paul Saftig² (¹ 九大・院薬,
²Gottingen uni., dep. of biochemistry II, ³Dundee uni., dep. of biological sciences)
- W4E-4 Lipid domains in the endocytic pathway
Toshihide Kobayashi (RIKEN Frontier Res. Syst.)
- W4E-5 高等植物液胞の動的構造
佐藤 雅彦¹, 中田 真美², 植村 知博² (¹ 京大・総合人間・自然環境, ² 京大・院生命科学)
- W4E-6 後期エンドソーム・リソソームの構築に関わる分子群
中村 徳弘^{1,4}, 若林 篤光^{1,4}, 安藤 綾俊^{1,4}, 孫(和田) 戈虹^{1,4}, 山本 章嗣^{2,4}, 和田 洋^{1,4}, 金澤 浩^{3,4}, 二井 將光^{1,4} (¹ 阪大・産研・生体応答, ² 関西医大・一生理, ³ 阪大・院理・生物, ⁴ 科技団・CREST)
- W4E-7 液胞型ATPaseの機能とマウス初期発生
孫 戈虹^{1,2}, 村田 佳子^{1,2}, 山本 章嗣³, 金澤 浩^{2,4}, 和田 洋^{1,2}, 二井 將光^{1,2} (¹ 阪大・産研, ²CREST, ³ 関西医大, ⁴ 阪大・理)

W4F 植物における高次シグナル伝達機構としてのHis・Aspリン酸リレー系の多様性と普遍性

2000年12月16日(土) 9:30 ~ 12:00 F会場
世話人/座長: 水野 猛(名大・院生命農学), 杉山 達夫(名大・院生命農学)

- W4F-1 ラン藻における低温適応とHis・Aspリン酸リレー系
鈴木 石根¹, 兼崎 友^{1,2}, Larisa Kiseleva¹, 三上 浩司¹, 村田 紀夫¹ (¹ 基生研, ² 総研大)
- W4F-2 シアノバクテリアにおける二成分情報伝達系と概日時計
岩崎 秀雄, 近藤 孝男(名大・院理・生命理)
- W4F-3 植物におけるHis~Aspリン酸リレー型情報伝達の基本機構
水野 猛(名大・院生命農学)
- W4F-4 シロイヌナズナのレスポンスレギュレーター, ARR1およびARR2, は転写因子として機能する
酒井 啓江, 本間 隆, 青山 卓史, 岡 穆宏(京大・化研)
- W4F-5 高等植物の浸透圧応答とヒスチジンキナーゼ
浦尾 剛¹, 刑部 祐里子¹, 篠崎 和子¹, 篠崎 一雄² (¹ 農水省・国際農研, ² 理研・植物分子生物)
- W4F-6 トウモロコシのサイトカイニンを介した窒素情報伝達におけるHis・Aspリン酸リレー
榊原 均, 杉山 達夫(名大・生命農学)

W4G スカベンジャー受容体ファミリーとその機能

2000年12月16日(土) 9:30 ~ 12:00 G会場
世話人/座長: 沢村 達也(国循セ研), 新井 洋由(東大・院薬)

- W4G-1 精管結紮後の非射出精子の処理および精子肉芽腫形成における SR-A の関与
鈴木 宏志(中外製薬)
- W4G-2 アポトーシス細胞貪食受容体としての SR-BI の機能
白土 明子, 中西 義信(金沢大・薬)
- W4G-3 HDL 受容体 SR-BI 結合蛋白質(CLAMP)の生理機能の解明
池本 守¹, 馮 東東¹, 磯尾 直之², 塚本 和久², 新井 洋由¹(¹東大・院薬・衛生化学, ²東大・医・糖尿病・代謝内科)
- W4G-4 酸化 LDL 受容体 LOX-1 の生理的意義
沢村 達也(国立循環器病センター・研究所)
- W4G-5 血管内皮細胞に発現しているスカベンジャー受容体群の構造と機能
安達 栄樹(理研・細胞生化学)
- W4G-6 フォスファチジルセリンと酸化 LDL を認識できる新規スカベンジャーレセプター SR-PSOX のクローニング
島岡 猛士¹, 久米 典昭², 南 学², 林田 和隆², 片岡 大治², 北 徹², 米原 伸¹(¹京大・ウイルス研, ²京大・院医)
- W4G-7 膜型コレクチン CL-P1 は血管内皮に発現し、スカベンジャーレセプター様の機能を示す
大谷 克城¹, 鈴木 定彦², 坂本 隆志¹, 芥子 宏行², 福應 温¹, 若宮 伸隆¹(¹阪大・微研, ²大阪府立公衛研)